

高松市立塩江中学校の校区と校舎

高松市立塩江中学校の校区は、東西 10.5 km、南北 8.5 km、総面積は 80.1 km²と、高松市の 20% を超える広大な面積に広がります。校区内には竜王山や大滝山などの山々、内場池（内場ダム湖）、香東川等の河川、塩江温泉等があり、多くの自然に恵まれた環境となっています。



新校舎は平成 25 年度に完成し、平成 26 年度には新第 1 体育館が完成しました。平成 27 年度からは校区の 3 小学校が統合した新塩江小学校が同一敷地内で開校し、小中併設校となりました。新しくなった校舎・体育館・運動場は最新の設備を有しており、太陽光発電や

LED 照明など環境に配慮されたものになっています。また、山間部の冬の寒さにも配慮し、地熱を活用した冷暖房システムも廊下に備えています。校舎内は木材を多用し、県産木を活用した建物になっています。



香東川をはさんで第 2 体育館もあり、移動には吊り橋を渡って行き来します。校内に吊り橋がある全国でも珍しい小・中学校です。

